

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	ふるさと水と土保全事業		基本目標	農業生産基盤の整備			
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸	開始年度 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	ふるさと水と土保全基金を運用して農地及び農業施設の適切な維持管理を行う。									
	意図・目的	老朽化した農業用施設(用排水・農道等)の延命化									
事業の内容	用排水や農道等の農業用施設の維持管理作業及び原材料支給										
主な支出項目	22年度決算額	1,149	千円	23年度予算額	1,223	千円	事業従事者数	H22 0.20	人	H23 0.20	人
	賃金	242	千円	国庫支出金		千円	22年度人件費	1,439 千円			
	委託料	105	千円	県支出金		千円	23年度人件費	1,427 千円			
	原材料費	471	千円	地方債		千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)		100.0	%	
	補助金	230	千円	一般財源	1,223	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
町の補助事業	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		農業用水路維持管理補助金					
	補助交付団体			小丸川土地改良区		補助金要綱		作成中			
	22年度	補助額	230,000	円	補助の形態	運営費補助	23年度補助額	230,000	円	終期	年度
		団体の決算額	1,166,667	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等						
		補助の割合	19.7	%	宅内排水路も流入するようになった農業用排水路を適正に維持管理することは、生活環境の保全にも必要なことであり継続していく。						
繰越額		0	円								

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 農業用施設の維持管理	小丸川土地改良区等と連携し農業用施設の維持管理に努める。
	2 原材料の支給	小丸川土地改良区等と連携し農業用施設の原材料を地元水利組合等に支給する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 原材料支給	要望のある水利組合に優先順位をつけ原材料を支給していく。
	2 点検	農業用施設の点検を改良区とともに年1回の点検を行う。
	3	

◎達成状況

指標名	単位	21年度			22年度			23年度		
		目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率
成果指標	農業用施設の維持管理	目標値	1		1		2			
		実績値	1		4					
		達成率	%	100.0%		400.0%				
	原材料の支給	目標値	1		1		2			
		実績値	1		2					
		達成率	%	100.0%		200.0%				
活動指標	原材料支給	目標値	1		2		2			
		実績値	1		2					
		達成率	%	100.0%		100.0%				
	点検	目標値	1		1		1			
		実績値	1		1					
		達成率	%	100.0%		100.0%				
0	目標値									
	実績値									
	達成率	%	#DIV/0!		#DIV/0!					

事務事業名	ふるさと水と土保全事業	担当課(局)	産業振興課
-------	-------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数		
		自己評価	委員評価	
(必要性)	町が直接関与するよう要綱で定められており、事業廃止については、影響がある。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
		◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性	適切な維持管理を行うことにより、農業用施設の長寿命化及び経費の削減を行えるとともに、生活環境の保全に役立っている。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
		◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性	農業用施設の維持管理に貢献できる。また、経費の削減については、農地・水環境保全向上活動事業の取り組みにより軽減されている。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
		◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性	農地・水環境保全活動を通して、地元住民との協働を進めている。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	2	-
合計(最高18点)			18	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益性)	生活環境保全にも充分役立っており、公益性がある。	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	1	-
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	1	-
		◎町民の理解が得られる事業であるか	1	-
合計(最高4点)			3	-
その他				

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	今後の方向性	コスト			
		廃止	縮小	現状維持	拡充
◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	現状においても地域住民との協働を進めており、維持管理の充実のためにも必要不可欠と考える。			○	

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎農道・排水路については、町が維持管理等に努めなくてはならないと判断するが、用排水で、地権者からは排水料などを徴収しているところは、水利組合の自主運営すべきと考える。 ※評価対象として馴染まない、という意見があったため、次回以降要検討。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	